

温故知新



春の熱中症にご用心

熱中症と聞くと真夏の炎天下に起きるという先入観がありませんか？
実は、寒暖の差が激しい春も要注意の季節です。
季節の変わり目に対策を始めましょう！！

「猛暑に慣れた真夏の35度より、気温が急激に上がった5月の25度の方が体にはこたえるんです」と兵庫医科大学の服部益治教授(小児科学)はいう。
ふだん、人間の体は体温が35～40度の間に収まるよう調整している。
だが、急に気温が大きく変わるとすぐに対応できない。

今春の平均気温は平年より高めになる確率が高いと予想されている。
5月に30度以上の真夏日も珍しくない。
季節の変わり目は寒暖の繰り返しも激しい。

対策は、まず、天気予報に気をつけよう。気温だけでなく湿度も重要だ。
湿度が高いと脱水状態になる危険が高い。

「夏日」「真夏日」「蒸し暑い日」といった予報が出たら、
「春ではなく夏だと思って過ごすのがコツ」です。

夏のような脱ぎやすい服装にする。また、お盆の季節に外を何時間も歩くようなことをしないのと同じで、ゴールデンウィーク中なども気温が上がりそうなら無理な計画は立てない！！こまめな水分補給も心がける。
水だけ取ると体液の塩分濃度が薄まり、塩分濃度を上げるため余計に汗をかく悪循環に陥りやすい。塩気のを一緒に取るといい。
塩分や糖分の濃度を体液に合わせてある経口補水液も有効です。

【今号の主な内容】

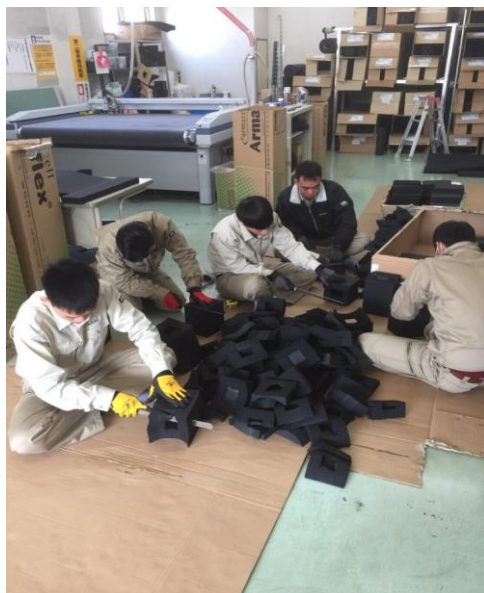
- P① 春の熱中症にご用心
- P② ベトナム研修生
- P③ ”
- P④ 旅行会・職長会のお知らせ



発行

野田工業 株式会社
東京都中央区銀座6-6-19
花菱ビル5F
TEL : 03-3572-1866
FAX : 03-3575-0420

最近のベトナム研修生の研修内容を、紙面にて紹介させていただきます。
日本語の講習を銀座事務所で行い、コミュニケーションの取り方やゼネコン各社様の面接の練習をしています。
又、技術指導ではゴム製品を含めた保温の講習や工場見学などを行っています。



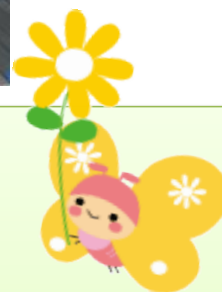


ことわざ・格言にならう安全衛生訓

●昨日の淵は今日の瀬 必ず実施、作業前の点検・確認

「昨日の淵は今日の瀬」とは、昨日までは淵(水が深くよどんでいる所)であった所が、今日は瀬(川の流れが速く浅い所)に変わっているというように、世の中のうつり変わりや人の浮き沈みの激しいことを指しています。古今集で「世の中は何か常なる飛鳥川、昨日の淵ぞ今日の瀬になる」とうたっています。職場においても、昨日までは安全だった設備や環境が、今日は危険になっている例はよくあることです。

したがって私たちは、何か物事を行う場合、過去の状態をそのまま鵜呑みにして行動するのは危険です。必ず現在の状態を点検してかかる必要があります。危険・有害な作業や危険な機器等に対して作業前点検が義務づけられていたり、作業中にも点検や確認を繰り返すのは、状況の変化(悪化)を把握して安全を確認するためです。昨日の笑顔が今日の泣き顔にならないよう、安全確認をしっかりと行って慎重に行動しましょう。



☆ 旅行会のお知らせ ☆



日 時 平成28年6月4日(土)・5日(日)

集合時間 出発 野田市6:30～銀座7:30
<往復観光バスになります>

宿泊先 白玉の湯 華鳳

〒959-2395 新潟県新発田市月岡温泉134番地



◀ 職長会のお知らせ ▶

☆日時 平成28年5月23日(月)

☆時間 18時00分～

☆会場 銀座ユニーク 3階